



歯 車

笑顔いっぱいのまちをめざして

<討議資料> h 27年の活動報告

平成28年1月号

鈴木としお後援会 No 20

〒018-0436

事務所：にかほ市樋目野字樋口21

Tel/fax : 37-2307

Eメール toshio-s@ninus.ocn.ne.jp

まだまだ寒い季節・・・お変わりございませんか？

暦の上ではもうすぐ「立春」。しかし、まだまだ寒さの厳しい日々かと思われます。どうぞ、風邪等に留意されて、元気にお過ごし下さい。

さて、皆さんに送って頂きましたにかほ市議会、もう6年目に入ろうとしています。改めてこれまでのご支援、激励の数々に感謝を致し、昨年1年間の活動を報告させていただきます。

昨年は、市制10周年を迎え、まちは大きく変わろうとしております。今年は地方創生元年、当市でも今後のまちの人口減対策等に具体策が示され、それを実行していく年でもあります。新しい熱回収施設の建設が終わり、観光施設「にかほっと」が部分的には3月にオープンも予定されています。

このあと、2月半ば以降には、主として28年度の計画及び予算審議のための、3月定例会も召集が予定されています。これまで同様に皆さんのご意見等承ることが出来れば幸甚でございます。ご意見は下記、HPからもアクセス出来ます。

寒暖の差の大きいこの時節・・・どうぞご自愛下さい。

URL <http://suzuki-toshio.jp>

ブログ <http://totikun.cocolog-nifty.com/blog>

私の一般質問

定例会は、臨時議会を除いて年間4回行なわれます。その定例会ごとに一般質問はあり、質問・答弁



含んで議員の持ち時間はひとり1時間です。質問すればいいというものではありませんが、行政に対して質問したり、提案出きる大事なものだと思っています。私は昨年は、会派を代表しての質問が1回、個人の一般質問を4定例会で行ないました。

その詳細なやりとりは、市のHPに掲載されている「会議録」に掲載されていますし、大まかなことは「議会だより」、また、私のHPに掲載しています。

平成27年の一般(会派代表)質問

	定例会	年月日	質問項目	内容の要旨
1	3月定例会 (会派代表)	27・3・3	・地方創生と当市の「基本構想」について ・「にかほ市観光拠点センター(仮称)」について ・福祉避難所の早急な整備を ・黒湯森林公園の整備について ・特別職報酬等審議会の答申等について	重要課題にどう取組むのか 地域の活性化とどのように結びつけるのか 今後、これを指定していくのか 整備のスケジュールは 答申を受けての見解を伺う
2	3月定例会	27・3・4	・市制施行10周年にはキャラクターの誕生を ・危険とみなされる空き家等の対策について	市制10周年記念に誕生できないか 代執行の権限をおりこめないか
3	6月定例会	27・6・15	・「空き家等対策措置法」の施行と当市の空き家対策について ・津波避難タワーの建設について ・自治会等の抱えている課題への対応について	「特別措置法」によって対策が変わるのか 建設までの3年間のスケジュールは？ 支援策は考えているのか
4	9月定例会	27・9・1	・新市となつての評価及び課題への対応について ・女性が社会参画しやすい環境づくりを	未だ着手していない事項の所見は？ これまでに進めてきた施策と効果は
5	12月定例会	27・12・14	・TPPの合意による、当市の農業への影響と支援について ・「地球温暖化防止宣言」その取組みについて ・旧小出小学校の利活用の検討方向は	当市の「米」「牛肉」にどのような影響あるか これまで取組んできた内容と今後の課題は 廃校舎の利活用は地域の活性化に影響！

主な討論

	定例会	討論	議案	理由
1	h27・3・20	賛成討論	米価対策の意見書、TPP 交渉に関する陳情	米価の下落は地域経済を左右する。また、TPP 交渉にあたっては、農林水産委員会の決議を踏まえること。それを守れない時は交渉から撤退すること。
2	h27・9・16	反対討論	新市のまちづくり計画の変更について	まちの財政計画はひとつだ。事業があって、財政計画がある。合併特例債の使用のことは理解するが、今一度、財政計画は事業計画とともに精査すべきである。

私の「今」・・・

会派・市民クラブ

現在、伊東温子議員とふたりで結成して、その代表になっている。当局には「是々非々」の立場で臨んでいる。政務活動費を請求し、昨年、ジオパーク・道の駅に絡んで隠岐と朝来市に「一心会」とともに研修した。

所属常任委員会

総務常任委員会に所属し、現在、副委員長。昨年の委員会研修では、軽井沢町と富山市に出かけて、人口減少等対策に絡んだ研修を行った。

広報公聴委員会

議会では、定例会終了ごと「議会だより」を発行し、市民の皆様に状況等提供している。また開かれた議会を目指し、皆さんと意見交換する「報告会」の実施が主な仕事だ。現在、同委員会の委員長。



ご意見をお寄せ下さい。

旧小出小学校の利活用を考える！

私は、これまでに「旧小出小学校の利活用」等について、4度一般質問を行なった。

h 2 4 ・ 9 小出小と院内小との統合について質問。当時の教育長は、「h 2 7 年にふたつの学校を統合し、5～6年後は、平沢を含めて統合し、仁賀保中学校の側に校舎を建設、小中連携の教育を進めたい」と答弁した。また、市長は「統合後の利活用は現段階では考えていない」との答弁であった。

h 2 5 ・ 1 2 小出小をイチヂクの加工所にできないか。これには総務部長が「他の利用で考えている」との答弁

h 2 6 ・ 3 閉校後の小出小の利活用について

学校の閉校準備と並行して利活用を考えるべきだとの質問に、教育長は「地域等からの意見は出ていない、今後地域の意見を聞きたい」との答弁。これに、私は提案として①高齢者の施設②ジオパークに絡んだ施設③地域のシビックセンターとしての活用④診療所の移転⑤郵便局の誘致を提案。これに市長は「今の段階では何とも申し上げられない」とのこと。

h 2 6 ・ 9 同僚議員の質問に対して、教育長が「小出地区会長会から要望の7件は、地域の総意として受止め今後慎重に検討したい」との答弁。

h 2 7 ・ 6 同僚議員の質問に対して、市長は「以前あった提案の実現は難しい。今年1年かけて有効な利活用の方法があるか検討したい」との答弁。

h 2 7 ・ 1 2 校舎の利活用には地域からも期待されている。現時点ではどのような事が検討されているかと質問。これには、「今後5年間の中で利活用を検討したい」との市長答弁。具体的なものは示さなかった。

現在、教育委員会には、小出地区会長会と某団体からのふたつの要望が出ている。

建物ゆえ利用がなければ、当然いたみが出てくるだろうと心配している。

議員定数について

議長から諮問を受け、適正な議員定数については、これまでに議会運営委員会が中心となって検討してきた。その後、議員定数について各会派からの意見が求められた。結果としては「概ね現定数の二十名が妥当との見解が多数であり、その旨議長に答申した。

尚、当会派「市民クラブ」としては以下の通り意見を述べた。

☆ 基本的には、地域の声を出さるだけ集める、更には多様な意見を反映するには、安易に減員すべきではないと思う。しかし、昨今の社会情勢、県内周辺の状況や市民の声に耳を傾けた場合、減員をすべきだと考える。

☆ 議員一人当たりの人口をみれば、秋田市では8,205人で最も高く、仙北市で1,519人、潟上市で1,700人。当市では1,335人と一番低い。

☆ 現在、1名の欠員でも混乱がなく、現議員の努力でもう1名をカバー出来ると思う。よって、定数の2名を削減し、定数18人が妥当と考える。